

代表質問

生田新市政のまちづくりを問う



令和会 ● 上野 顕介 議員

問 市長の考えるまちづくりでは、市内の生活圏について

答 中学校区単位で、市内を大きく分けて4つの生活圏と捉えています。これらの地域で暮らしが成り立つように考えていきます。

問 それぞれの地域で暮らしに直結する子どもの施設や高齢者の施設は公平にありますか。

答 高齢者の施設は夏見の保健センター内に地域包括支援センターがあります。今後生活圏地域ごとの在り方を検討していきます。また、子ども施設は、三雲に児童館、石部、岩根に子育て支援センターがあります。

問 免許返納世帯の増加が急速に進んでいくこともあり、4つの生活圏から市内公共施設などへの交通手段として、デマンド交通が必要ですが、市の考えは。

答 これから高齢者世帯が増えるので限られた財源の中で市民に利用しやすい運行形態となるよう検討していきます。

問 そのためには、地域交通専門の部署も必要ではないですか。

答 地域交通専門の担当職員配置を検討します。

問 地域運営の組織体として区長会とまちづくり協議会を統合する考えがあるのですか。

答 区と各地域まちづくり協議会の連携と情報一元化、まちづくり協議会会長の公的位置づけについて区長会とまちづくり協議会での意見交換もふまえ、地域課題解決のために地域運営組織の役割が重要と考えています。ただし、十分に納得が来ていない部分については、少し時間をもちって考えていきます。

新型コロナ対策が何よりも優先されるべき



日本共産党湖南省議員団 ● 立入 善治 議員

問 新型コロナウイルス感染症について、所信表明では触れられていない理由は。

答 触れなかったことを「言われるなあ」と想像してしまいました。感染予防しながら、サービスを低下させないために行ってきた事業の実施方法の見直し、職員の感染予防に取り組みます。

問 中学卒業までの医療費、給食費無料について

答 中学卒業までの医療費、学校給食の無料化について

答 財源確保が最大の課題、今しばらく時間をいただきたい。

問 天然記念物「ウツクシマツ」の自生地の保護・育成、「マツ保護士」の育成と周辺整備について

答 まず、保全を第一に、「保存・活用計画」を踏まえ検討、一括し

た部署を立ち上げます。マツ保護士の資格が必要とされるなら資格取得に取り組む。予算的な制約もありますが、維持保全活動を行ったうえで検討します。

問 正規職員の増員について

答 令和7年までに現在の435人から10人増員の予定です。

東庁舎周辺整備は

問 東庁舎周辺整備計画についての基本的な考え方について

答 これまでの耐震診断結果を含め業務内容を再検証します。結果により、再度の耐震診断の実施も検討、その際には、公益法人耐震診断判定委員会に判定を依頼します。計画を見直す場合は「官庁施設の総合耐震計画基準」に基づき適正な整備を進めます。